

町民の皆さまへ

令和5年7月1日

令和5年度 西和賀町社会福祉協議会 会費納入のお願い

社協の事業を支えて頂いているのは、皆様からの会費です。
本年度も「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」に活かして
まいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

町民の皆様には、日頃より社会福祉協議会の事業運営につきまして多大なる
ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本協議会（社協）は、身近な地域社会で安心して生活出来るように地域の
方や福祉・保健・医療の関係機関と連携を図りながら「誰もが安心して暮ら
せる福祉のまちづくり」をめざして地域福祉を進めています。複雑に多様化する
福祉ニーズに応え、サービスを展開するために財源が必要となります。

皆様から頂いた会費は、地域福祉発展のための資金と
して使われます。

主旨をご理解いただき、1世帯 1,200円のご協力
をお願いします。



社会福祉法人 西和賀町社会福祉協議会

- ☆本部（青年女性会館内） 〒029-5614 西和賀町沢内字太田1-30
電話 0197-85-3225 FAX 0197-85-3234
- ☆湯田支所（悠々館） 〒029-5512 西和賀町川尻40-73-82
電話 0197-84-2161 FAX 0197-82-3572

ご寄付ありがとうございました

匿名様 30,000円

皆様からお預かりした貴重な寄付金は地域福祉推進のための財源として本会の各種事業の諸経費等に充てています。

☆ご利用ください 心配ごと相談所☆

太田会場 本部（青年女性会館内） 10時～正午 川尻会場 悠々館 13時30分～15時30分

7月開催相談会		8月開催相談会		9月開催相談会	
6日	民生／行書：川尻	3日	民生／司書：太田	7日	民生：太田
13日	行政：川尻	10日	障害／介護：川尻	14日	民生／行書：川尻
20日	人権：太田	17日	行政：太田	21日	障害／介護：川尻
27日	民生：川尻	24日	弁護士：太田、川尻	28日	人権：太田
※ 行書 → 行政書士相談		31日	人権：太田	※ 障害 → 障がい相談員	

毎週木曜日を開設日としております。相談内容は秘密厳守です。

令和4年度 西和賀町社会福祉協議会 決算報告

貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	43,861,872	流動負債	7,284,222
預貯金	19,937,766	未払金	6,512,713
未収金	23,924,106	預り金	771,509
立替金	0	1年以内返済予定リース債務	0
基本財産	74,346,000	固定負債	67,623,811
定期預金	1,000,000	退職給与引当金	67,623,811
建物	73,346,000	負債の部合計	74,908,033
その他固定資産	166,371,602		
機械及び装置	4,830,329		
車輛運搬具	4,554,178		
器具及び備品	3,717,883		
ソフトウェア	895,401		
まごころ銀行貸付金	560,000		
退職手当積立金	48,798,590		
退職給付引当預金	18,825,221		
福祉基金積立預金	74,090,000		
運営費積立預金	10,100,000		
資産の部合計	284,579,474	負債及び純資産の部合計	284,579,474

資金収支計算書

(単位：円)

事業活動による収入		施設整備による収支	
会費収入	2,217,600	施設整備等収入計(4)	0
寄付金収入	227,169	固定資産取得支出	678,040
経常経費補助金収入	23,000,931		
受託金収入	35,685,060	施設整備等支出計(5)	678,040
事業収入	3,608,812	施設整備等収支差額(6)=(4)-(5)	-678,040
貸付事業収入	398,000		
介護保険収入	100,745,443		
障害者福祉サービス等事業収入	2,352,120		
その他の収入	14,408,014		
受取利息配当金収入	19,120		
事業活動収入計(1)	182,662,269		
		その他の活動による収支	
		積立資産取崩収入	38,494,387
		その他の活動収入計(7)	38,494,387
		積立資産支出	6,234,300
		その他の活動支出計(8)	6,234,300
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	32,260,087
		当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	-4,868,824
		事業活動支出計(2)	219,113,140
		前期末支払資金残高(11)	41,446,474
		事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	-36,450,871
		当期末支払資金残高(10)+(11)	36,577,650

事業活動計算書

(単位：円)

サービス活動収益		サービス活動外収益	
会費収益	2,217,600	受取利息配当金収益	19,120
寄付金収益	227,169	サービス活動外収益計(4)	19,120
経常経費補助金収益	23,000,931		
受託金収益	35,685,060	サービス活動外費用	
事業収益	3,608,812	サービス活動外費用計(5)	0
介護保険事業収益	100,745,443	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	19,120
障害者福祉サービス等事業収益	2,352,120	経常増減差額(7)=(3)+(6)	-25,166,865
その他の収益	3,018,858		
サービス活動収益計(1)	170,855,993	特別収益	
		固定資産受贈額	2,393,200
		特別収益計(8)	2,393,200
		特別費用	
		固定資産売却損・処分損	0
		国庫補助金等特別積立金積立額	2,393,200
		その他の特別損失(事業、拠点等繰入)	
		特別費用計(9)	2,393,200
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	0
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-25,166,865
		繰越活動増減差額の部	
		前期繰越活動増減差額(12)	57,050,064
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	31,883,199
		その他の積立金取崩額	16,600,000
		次期繰越活動増減差額	48,483,199

令和5年度 西和賀町社会福祉協議会 職員体制

沢内本部

氏名	職名	業務内容
菊地 嘉子	事務局長	<ul style="list-style-type: none"> 法人運営 社協一般庶務、会計 共同募金事業 生活福祉資金事業 まごころ銀行 学童クラブ事業 福祉団体事務局 生活支援コーディネーター事業 沢内地区日常生活自立支援事業
廣田 宏	総務企画課長(再任用)	
高橋 光	総務企画主任	
照井 陽子	総務企画係	
佐藤 りき子	学童クラブ指導員	
高橋 あい	学童クラブ指導員	
新田 マリ子	学童クラブ指導員	
小田島 久美子	学童クラブ指導員	

地域福祉課

氏名	職名	業務内容
飯野 博康	地域福祉課長	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉推進に係る全般事業 ボランティアセンター事業 あんしんサポートセンター事業 成年後見センター事業 生活困窮者自立支援事業 市民後見推進事業 生活福祉資金事業 悠々館管理業務 生活支援コーディネーター事業 湯田地区日常生活自立支援事業
高橋 哉子	地域福祉課主任	
小野寺 明穂	地域福祉係兼包括支所	
照井 秀夫	悠々館管理人	
武田 孝一	悠々館管理人	

湯田支所

氏名	職名	業務内容
柿澤 成憲	在宅福祉事業課長	在宅福祉事業業務全般
高橋 路子	在宅福祉係	
ホームヘルプにしわが・訪問入浴にしわが		ケアプランにしわが
柿澤 由紀	在宅サービス提供責任者兼在宅福祉係介護員主任	高橋 和子 主任介護支援専門員
柏崎 あゆみ	在宅福祉係介護員	柴田 和香子 介護支援専門員
藤戸 幸恵	在宅福祉係介護員	深澤 直美 介護支援専門員
泉川 美智子	在宅福祉係看護師	飯野 博康 課長兼務介護支援専門員
		廣田 宏 課長兼務介護支援専門員
デイサービスにしわが		
長谷山 恵	在宅福祉係介護員主任	高橋 恵美子 在宅福祉係介護員
高橋 済夏	在宅福祉係看護師主任	梅川 明美 在宅福祉係介護員
高橋 朱実	在宅福祉係介護員/調理員	田中 江美 在宅福祉係介護員
八京 真由子	在宅福祉係介護員	高橋 久美 在宅福祉係介護員
山田 佑美	在宅福祉係介護員	桑島 政史 在宅福祉係調理員
菊池 和花	在宅福祉係看護師	吉田 かよ子 在宅福祉係介護員
高橋 素子	在宅福祉係看護師	佐々木 輝男 在宅福祉係介護員
梨子下 彩香	在宅福祉係介護員	

ひとり暮らし交流会を開催しました

今年度、1回目のひとり暮らし交流会が悠々館で開催されました。

今回も新型コロナウイルス蔓延防止を施し、西和賀町を2つの班に分けて、6月23日(金)、6月30日(金)の2日間開催されました。

内容は「消費生活出前講座」「レクリエーション」で、参加された約60名は特殊詐欺等への警戒を高めたり、久しぶりの再会を喜び、レクリエーションなどを通し楽しいひと時を過ごしました。

令和5年度 西和賀町社会福祉協議会 収支予算

収入 (単位：千円)

科 目	前年度	本年度	増減	説 明
会費収入	2,268	2,208	-60	一般会費/団体会費
寄付金収入	100	100	0	一般寄付等
経常経費補助金収入	22,377	20,622	-1,755	法人運営等補助金収入
受託金収入	35,899	38,307	2,408	学童/支援ハウス/包括/予防サロン/市民後見等
事業収入	3,748	3,071	-677	学童保育利用料/支援ハウス利用料等
貸付事業等収入	500	500	0	まごころ銀行償還金
介護保険事業収入	120,711	104,335	-16,376	介護保険事業収入
障害福祉サービス等事業収入	2,160	1,978	-182	障害福祉サービス等事業収入
その他の収入	100	325	225	雑収入 保険金等
受取利息配当金収入	16	6	-10	普通/定期預金利子
施設整備等による収入	0	0	0	
その他の活動の収入	18,541	21,752	3,211	
前年度繰越金	2,337	4,823	2,486	
	208,757	198,027	-10,730	

支出 (単位：千円)

科 目	前年度	本年度	増減	説 明
人件費支出	147,893	141,476	-6,417	正規・非正規職員給与等
事業費支出	20,961	22,462	1,501	各事業に係る事業費
事務費支出	13,169	12,389	-780	各事業に係る事務費
利用者負担軽減	110	110	0	介護保険利用者負担軽減
貸付事業支出	500	500	0	まごころ銀行貸付金
共同募金配分事業費	2,157	1,929	-228	共同募金配分事業
助成金支出	678	222	-456	福祉協力校等
施設整備等による支出	0	0	0	
その他の活動の支出	23,289	17,351	-5,938	
	208,757	196,439	-12,318	

共同募金 令和4年度 福祉のまちづくり支援事業

沢内太鼓百年座並びに上野々老人クラブ「すみれ会」では「共同募金会福祉のまちづくり支援事業助成事業」の申請を行い、百年座に169,000円、すみれ会に49,000円の助成が決定となりました。

太鼓の魅力の後世に繋げたい。高齢者の集いの場として住民の交流を図りたい。とのそれぞれの団体の思いを実現するため、一歩前進したと思われます。

この事業を通し、子供会などの行事の指導者としての参加や、世代間交流の場の提供としても役割を果たすことが期待されています。

感想 百年座「新たな音色を迎え、曲の巾が広がると部員一同喜んでいきます」



△ 新たな用具での打ちはじめ



△ ピッカピカの太鼓のお目見え

令和5年度西和賀町社会福祉協議会 事業項目

1 居宅介護サービス事業

- ・訪問介護事業 (自立支援給付費：身障・知的・精神障害者対応含む)
- ・通所介護事業
- ・訪問入浴介護事業
- ・居宅介護支援事業



2 在宅福祉サービス事業

- ・地域型サロンの育成・支援
- ・介護予防・日常生活支援総合事業 (町委託介護予防サロンの開設)
- ・生活支援ハウス事業 (悠々館居住事業)
- ・介護用品の斡旋
- ・福祉用具・車両貸与事業
- ・生活支援体制整備事業の推進 (生活支援コーディネーターの配置)
- ・介護保険認定調査員の受任

3 住民参加の地域福祉活動の推進

- ・地域福祉懇談会の開催
- ・地域福祉に関する情報提供
- ・地域ネットワーク活動の推進
- ・福祉まつりの開催
- ・雪かきボランティア (スノーバスターズなど) への活動支援
- ・地域生活支援事業 (アクション大舞広事業) の充実促進
- ・災害時要援護者支援リストの整備
- ・西和賀町チャリティショーの協力
- ・見守りシステム「絆-ONE」事業の継続実施、普及活動

4 あんしんサポートセンターの設置運営

- 1) 西和賀町心配ごと相談事業
 - ・総合相談・生活支援の充実のための『西和賀町心配ごと相談所』設置
 - ・常設相談の実施・定例相談日の開設
 - ・法律相談の実施・障がい者相談の実施
 - ・人権擁護員、行政相談員、司法書士、行政書士、介護支援専門員との連携
- 2) 低所得者福祉に関する事業
 - ・まごころ銀行の設置運営
 - ・生活福祉資金の貸付、償還事務
 - ・西和賀町歳末たすけあい募金の配分
- 3) 生活困窮者自立支援事業
 - ・自立相談支援事業の推進
 - ・家計改善支援事業
 - ・自立相談支援事業支援調整会議の主宰
- 4) 住民の権利擁護に関する事業
 - ・成年後見センターの受託運営
 - ・法人後見事業の推進
 - ・市民後見人養成及び市民後見人養成講座受講者等への活動支援
 - ・成年後見制度の普及
 - ・権利擁護ネットワーク運営委員会の主宰
 - ・福祉サービス利用援助事業 (日常生活自立支援事業) の推進
- 5) 新たなサービスの構築
 - ・制度の狭間にあるニーズを分析し、サービス構築の検討

5 高齢者福祉の推進

- ・スポーツイベント等への開催協力
- ・高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の実施
- ・一人暮らし高齢者交流事業



6 障がい者福祉の推進

- ・北上地区ふれあい運動会の開催協力
- ・「声の広報」活動の実施
- ・障がい者の社会参加促進支援、啓蒙活動
- ・障がい者支援施設多機能型事業所「ワークステーション湯田・沢内」運営への協力

7 福祉教育、子育て支援の推進

- ・教育現場における福祉ボランティア活動支援
- ・西和賀児童福祉作文コンクールの実施
- ・子育てサロンの開設
- ・生徒と高齢者との世代間交流活動の推進
- ・学童クラブの受託運営 (湯田学童クラブ・沢内学童クラブ)
- ・介護・ソーシャルワーク実習の受入



8 ボランティア活動の推進

- ・西和賀町ボランティアセンターの運営
- ・ボランティア相談・登録・斡旋
- ・ボランティア団体・NPOへの育成・支援
- ・ボランティア連絡会への支援
- ・ボランティア活動への支援 (スノーバスターズ、ハウスヘルパー、声の広報の録音活動、アクション大舞広、ピーハンター等)
- ・ボランティアへの参加を啓発する活動 (ボランティアポイントの交付)
- ・ボランティア情報紙の発行
- ・災害時の避難支援体制づくり (災害ボランティアセンター)

9 在宅介護者・要援護者支援事業

- ・地域包括支援センター支所に係る事業の経営
- ・介護予防地域支援事業への支援・協力
- ・在宅介護者リフレッシュ事業
- ・CSWにより地域ニーズの発見



10 福祉関係団体との連携

- ・町民生児童委員協議会との連携協力
- ・町内社会福祉法人との連携協力
- ・町内福祉サービス事業所との連携協力
- ・医療、保健機関との連携協力
- ・北上和賀広域社協との連携協力
- ・町老連・広域老連・身障協・母子協・手をつなぐ育成会等との連携協力

11 福祉意識の啓蒙、普及活動

- ・西和賀町社会福祉大会の開催
- ・福祉だよりの編集発行 (福祉事業の啓蒙、情報提供)
- ・社協ホームページの開設、運営
- ・在宅福祉情報誌の発行
- ・差別のない社会への啓蒙

12 福祉関係団体に対する支援(事務委託)

- ・西和賀町老人クラブ連合会
- ・西和賀町身体障害者協会
- ・西和賀町母子寡婦福祉協会
- ・西和賀町民生児童委員OB会



13 その他の事業

- ・苦情解決窓口の設置
- ・各種調査の実施
- ・西和賀町高齢者生活福祉センター事業の経営と利用促進
- ・地域福祉活動計画の策定
- ・中長期経営計画の策定
- ・福祉人材の育成
- ・各種計画に基づく施策への協力

にしわが 福祉だより

編集・発行：社会福祉法人 西和賀町社会福祉協議会

〒029-5614 西和賀町沢内字太田1-30

TEL 0197-85-3225 FAX 0197-85-3234

E-MAIL info@nishi-shakyo.net

HOME PAGE <https://nishi-shakyo.net/>

福祉だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行しております。

No.83 2023.7.1



じぶんの町を
良くするしくみ。

令和五年度西和賀町社会福祉協議会 事業方針

◆基本理念◆

「地域のきずなと交流ネットワークを育み
誰もが安心して心やすらかに暮らす 西和賀」

◆基本方針◆

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により生活様式は大きく変化しており、不安定な雇用により生活に困難を抱える世帯の急増や、地域で展開されてきた交流活動の中止、支え合いや助け合い活動の取り組みが困難になるなど、不安を抱える世帯が増加する状況となっております。

国においては、地域共生社会の実現に向けて包括的な支援体制の構築を目指しており、相談支援や社会参加支援、地域づくり支援を進めることにより、複雑化した生活課題を包括的に対応することを目指しています。

本町の現状は、高齢化や人口減少の進行により、一人暮らし高齢者等の増加や地域力の減退により助け合いや見守り活動なども弱体化してきています。このような状況を踏まえながらも本会は、町民や時代の要望を的確に把握し、開拓性・即応性・柔軟性を活かした事業を行います。

そのためにはボランティアグループや高齢者をはじめとした町民の方々の参加と協力をいただきながら、町行政機関をはじめ、民生委員児童委員・社会福祉法人等の関係機関・

福祉団体等とも連携を図ります。そして、相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援（重層的支援体制整備）に積極的に取り組み「地域共生社会」に向けた取り組みを実施してまいります。

◆重点目標◆

- 1 いつでも、どこでも、誰にでも、実情に応じた利用者本位の福祉サービスを提供します。
- 2 住民参加を基本に、行政・関係諸団体との連携協働による地域福祉の推進に努めます。
- 3 この地域に住み続けたい願いを叶えるために、地域における福祉課題の把握と解決に向けた柔軟かつ計画的な取り組みを実施していきます。
- 4 地域におけるすべての人が、自立し安心して暮らせるように制度の狭間や社会的弱者に対する先駆的・モデル的事業に積極的に取り組みます。
- 5 情報公開、説明責任、経営の透明化など健全で適切な経営を目指します。
- 6 経営・財政基盤を強化し、地域住民から安心と信頼感がもたれる組織体制を整備します。
- 7 安心して介護が受けられ、又、予防活動に積極的に取り組めるよう、介護保険事業者として質の高いサービスを提供します。